

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和元年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ②ライフ分野 (9/10)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区(AAAシティおかやま) (岡山市)	3.6	3.2 進捗度 ・介護保険給付費の抑制 72% ・最先端介護機器等の活用による産業振興 136% ・在宅高齢者の増加とQOLの向上 245% ・生涯現役社会づくりの推進 0%	3.4 規制の特例等 ・地域活性化総合特別区域介護機器貸与モデル事業 ・訪問介護・訪問介護事業者に対する駐車許可簡素化事業等 財政支援等 ・老人保健健康増進等事業 地域独自の取組 ・訪問診療支援研修会等	3.8	<p>・体力や認知能力が低下しても生涯、役割をもって社会の一員として暮らしていける社会の実現を目標に設定したことは高く評価できる。</p> <p>・就労者の動機付けやビジネスモデルなど付随する課題も多いと思われるが、長寿先進国日本から世界に発信できるモデルの構築を期待したい。先進的な好事例については、全国的な横展開に向けた情報発信にも期待したい。</p> <p>・要介護高齢者の増加という課題に対して地域の視点、工夫から細やかな取組みがなされている。既存の規制にとらわれず、介護を受ける者の身になって、求められる人が動くというシステムが良いシステムであるとの信念が感じられる。</p> <p>・一部大きく目標を達成していない項目もあるが、他の特区には見られないアウトカムの評価を積極的に行い、改善を見ていることは高く評価できる。</p> <p>・研究視点を加味しながら、プロジェクトが推進されている点、さらに新しい段階での事業が採用され、成果もみられる点が評価できる。</p> <p>・介護保険における保険者として、総合特区の制度を活用した介護事業における活性化を視野に入れた取組も評価できる。</p> <p>・介護ロボット導入による介護従事者の負担軽減、従事者の定着なども期待したい。</p>